

Title	太宰治スタディーズ 第1号 表紙
Author(s)	
Citation	太宰治スタディーズ. 2006, 1
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/97250">https://hdl.handle.net/11094/97250</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

# 太宰治スタディーズ

第1号 2006.06 総特集 = 『斜陽』

いま、なぜ、太宰治『斜陽』なのか 松本和也

## 【太宰治『斜陽』研究史】

1940年代 岡村知子／1950年代 井原あや／1960年代 松田 忍  
1970年代 永吉寿子／1980年代 小澤 純／1990年代 吉岡真緒

## 【研究論文】

- 大國眞希 虹と水平線  
 斎藤理生 太陽と言葉—『斜陽』試論  
 萬所志保 太宰治『斜陽』についての一考察—〈真／偽〉を超えて  
 吉岡真緒 太宰治「斜陽」論—物語の転換と余白  
 井原あや 『斜陽』のざわめく周縁—〈太田静子〉のイメージ化—  
 小澤 純 《傾斜》する記憶—『斜陽日記』／『斜陽』試論  
 青木京子 『斜陽』と〈道徳革命〉—「教育勅語」・「家族制度」をめぐる  
 岡村知子 太宰治「斜陽」論—問題系としての戦後ロマン主義—  
 滝口明祥 かず子の〈革命〉、サチ子の〈退屈〉  
     —太宰治『斜陽』と坂口安吾『青鬼の禪を洗う女』  
 永吉寿子 「斜陽」における〈破壊〉と〈犠牲〉—太宰治の倫理性  
 松本和也 明滅する〈自由〉—太宰治『斜陽』を解読する

「太宰治スタディーズ」の会